

中小企業大学校による指導力強化訓練



～技能継承を円滑に行うための工夫～

① 熟練者から若手への技能継承を進めていきたいが、思うようにいかない。良い方法はないものか。

このままでは、当社の技術が途絶えてしまう

技能継承の手法として、熟練者と若手がペアを組んで、直接指導するという方法もありますよ。

② そういった方法も含めて、いろいろ考えてはみたんだけどね。そもそも熟練者自身が他人に教えるノウハウがないから、直接指導といっても、うまくいかないんだよ。昔のように「仕事は見て盗め」じゃ、いけないしね。

熟練者自身は見て盗んで覚えていたから教え方が分からないんだよ

③ 熟練者の指導力不足でお悩みであれば、一度、「中小企業大学校」を利用されてはいかがでしょうか。指導力強化のための教育訓練も実施しているんですよ。教育訓練にかかる費用に対する助成金制度もあるんですよ。

指導力強化のための研修機関があるんですよ

そんなの利用しなきゃもったいないじゃないか

④ 助成金を活用し、熟練者向けの研修を中小企業大学校で受講させました。その結果、熟練者は人に教えるノウハウを得られ、効果的な技能継承を行えるようになりました。

技能継承も安心！

熟練者の指導力向上により、若手の技術力向上となった

取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」「36協定上限引下げ★」に該当

業種：製造業 従業員数：43名

熟練者から若手への技能継承を進めていきたいが、熟練者には技術はあっても、人に教えるノウハウ等がなかったことから、熟練者の指導力強化を図りたい。

＜熟練者に対する指導力強化研修の実施＞
○外部機関（中小企業大学校等）を利用し、雇用している熟練者に対して、技能者育成のための指導力を強化する訓練の実施。



【職業訓練経費等の一部を助成】
○人材開発支援助成金
(特定訓練コース(事業外訓練))
賃金助成 380～960円/時間
経費助成 最大 60%
◆助成金には生産性要件等、一定の要件があります。

- ・訓練を実施したことで、熟練者の指導力が向上し、若手に対し、より効果的な訓練を行えるようになった。
- ・効率的な訓練にもつながり、技能継承に要していた労働時間が削減され、36協定の上限を引き下げた※。
- ・熟練者の指導力向上は、若手への技能継承のみならず、若手との円滑なコミュニケーションにもなり、熟練者と若手との信頼関係構築にもつながった。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、「愛知県働き方改革推進支援センター(平成30年度実施機関:愛知県社会保険労務士会)」で相談を受け付けています。

■ 本 部:名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

■ 豊橋出張所:豊橋市花田町字石塚42-1(豊橋商工会議所内)

✉hatarakikata@aichi-sr.com

☎0800-200-5262

✉hatarakikatatoyo@aichi-sr.com